



動物行動学者が語る、
人間の身ぶりとしぐさの意味と
風習の文化史。

アートにみる 身ぶりとしぐさの文化史

デズモンド・モリス [著] 伊達淳 [訳]

B5変型判 320ページ オールカラー 定価(3,600円+税) ISBN 978-4-385-16250-8

- ベストセラー『裸のサル』をはじめ多くの著書がある動物行動学者デズモンド・モリスが、芸術作品に見られる人間の身ぶりやしぐさを研究・分析。膨大な知識に裏打ちされたユーモアあふれる文章は、読む者の知的好奇心を刺激する。
- 大判のハードカバーで、図版を大きく扱う贅沢な誌面構成。非言語コミュニケーションとしての身ぶりやしぐさに関心のある方、幅広い美術愛好家などへのプレゼントにも最適。

デズモンド・モリス

動物学者、動物行動学者、画家。主な著書に『裸のサル 動物学的人間像』（角川書店）、『マンウォッチング 人間の行動学』（小学館）、『ボディートーク 世界の身ぶり事典』（三省堂）ほか多数。

伊達 淳

翻訳家。モリス『サル その歴史・文化・生態』『フクロウ その歴史・文化・生態』（ともに白水社）、クラウス『野生のオーケストラが聴こえる』（みすず書房）ほか多数。

あくび

あくびとは奇妙な現象で、科学者たちも長年かけて調査されている。あくびが「いつ」あるのかに関しては、何も不可解なことはない。寝て顔にならないのだから、まだそうするわけにはいかないこととあくびは、うんざりしているときにもある。あくびとは、口をいっぴきに開ける動作と、大きく開けた口をいっぴきに息を吸って行く動作の組み合わせであり、たいていの場合、同時に目や鼻や喉を開く。あくびは脳が呼吸が滞りだしたとき、息が止まっていることを検知して自分もあくびをしているということが原因にある。それが原因に気づくことも少ない。

しかし、あくびをするときの状況やその動機はさもない。「なぜ」あくびが起るのかについてはほとんど解明されていない。たぐりんの空気を一気に肺に取り入れるのは起るという説がある。しかし、あくびの音やあくびをする。目が閉れてむくむくする。同じような現象の人間を一度に観ることもできる。異なる説もあるが、群れで行動しない動物もあくびをすることを考えると、獲得力に欠ける。3つの可能性は、あくびの本質は脳の機能をほぐすことにある。その間に他の部位もストレッチをすることになるというのだ。そうすれば脳の前部が少し上がり、後部は軽減されるかもしれない。それならどうして脳の前方のストレッチにしかならない場合があるのか。あくびの目的は脳に関する研究は限定的だが、なかなか進展しない。しかし、自然なストレッチや統合失調症の発症する人は他の人のあくびを見て自分もあくびをすることが多いという発見が、新たな突破口となるかもしれない。

あくびの観察をうよとした芸術家がいた。あくびをする人物を撮って群れで面白がるに似ていた。これは、はるかに前記のジョセフ・デュマールは、人相学や顔相学に心をこめて、この奇妙ながら面白い現象を極めて正確に表現している。自画像、あくび(1789年)では、左右非対称の顔相の輪郭のしくみもよく開けた口も含めて、大きなあくびの真ん中にある自分自身を撮っている。ルイージ・モンターゾの「あくびをする若者たち」(1850年)では、あくびの伝

た印象的な作品で、あくびをしている最中のスケッチの若者を撮っている。左側は1900年代初期にムーブメントとなったシネマ・グランドの観客者の一人で、実行を促した観客の若者たちをテーマに撮られている。

2013年には、オランダの芸術家セバスティアン・エクスラスが「眠らない街」(一編)と題した興味深いインスタレーションの一環として、ニューヨークのタイムズスクエアの電光掲示板を手がけている。一月の9日間、夜の11時30分から三分間、あくびをして自身の顔と、自身の顔で夜のスクリーンに映し出したのだ。自ら撮るのではなく、スクリーンに映る2000人の観客、その中には観客もあくびをする瞬間を撮る。



1850年、ルイージ・モンターゾの「あくびをする若者」。



1789年、ジョセフ・デュマールの「あくびをする若者」。

1850年、ルイージ・モンターゾの「あくびをする若者」。

1789年、ジョセフ・デュマールの「あくびをする若者」。

見本ページ(縮小)



1789年、ジョセフ・デュマールの「あくびをする若者」。



1850年、ルイージ・モンターゾの「あくびをする若者」。

1850年、ルイージ・モンターゾの「あくびをする若者」。

●有史以前の部族芸術や初期の宗教画、現代アート、民芸品、ストリートアートまで、幅広い芸術作品を対象とし、231点をオールカラーで掲載。特定のしぐさや身ぶりに関連づけて、時代も地域もさまざまな芸術作品が並ぶことで、見慣れた有名な作品にも新たな光があたる。

目次

はじめに

第1章 挨拶

呼びかけ(敬礼)／握手／抱擁／お辞儀とカーテシー／ひざまずく／平伏

第2章 祝福

按手／ローマカトリック教会と正教会の祝福／仏教の祝福／ヴァルカンの祝福

第3章 ステータス

背すじを伸ばす／指を三分割する／手を隠す／挑発する肘／コッドピース／足先を向ける／腰を屈める／自由な活動と汚れた都市部

第4章 侮辱

嘲笑する／舌を突き出す／鼻に親指をあてる／指を使ったしぐさ／手を使ったしぐさ／腕をぐいと突き出す／尻を見せる

第5章 威嚇

拳を振り上げる／掴みかかる手／威嚇する表情／手袋で叩く／象徴としての威嚇のしぐさ

第6章 苦悩

涙を流す／悼む／苦悶／恐怖／不快感／象徴的な苦悩

第7章 自己防衛

逃げる／降伏する／鎧／遮断／ボディ・クロス／腕を組む／アームズ・アキンボ／指を十字に交差させる／盾としてのコルヌータ／タトゥ／パール

第8章 エロス

ヌード／女性の乳房／イチジクの葉／エロチックな抱擁／エロチックなキス／拘束

第9章 休息

足を組む／しゃがみこむ／もたれかかる／横たわる／揺らす／あくび／眠る

参考文献／図版出展一覧／謝辞／索引

三省堂 〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎03(3230)9411(編集)・9412(営業) <https://www.sanseido.co.jp/>

注文書	NEW アートにみる身ぶりとしぐさの文化史 ISBN 978-4-385-16250-8 定価(本体3,600円+税)		貴店名・帖合先
	お名前	お電話番号	冊
	ご住所 〒		

※必要事項をご記入のうえ、最寄りの書店へお申し込み下さい。お客様の個人情報は本書のご注文のみに利用し、目的外の利用はいたしません。

三省堂